

自転車利用実態定点調査報告

平成27年1月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成26年12月18日
[午前]7:50~8:40

調査場所 ・ 東京都立目黒高校(共学・目黒区)
概要 ・ 調査対象(高校生の自転車通学実態)



調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

No.	走行空間			車種		雨天		危険運転行為					
	車道走行	歩道走行	歩道中央	自転車	電動	雨	雪	片手運転	片手運転	片手運転	片手運転	片手運転	その他
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													

調査日時：	平成 年 月 日
天気：	気温：
調査時間：	～

＜調査票＞

【コメント】

◎走行空間においては、車道走行者は、皆無のため、歩道走行者が 100%(64 台)であった。

◎危険運転行為(違反運転行為を含む)は、片手運転(3 件)・背中にギター(3 件)・肩に荷物(2 件)・過重積載(1 件)の順となっている。

【総合】

今回の調査は、引き続き、高校生の自転車通学の実態を調査したものであり、一般の人と比較して高校生が自転車のルール・マナーを遵守して利用しているかの判断基準となりうるものである。

同校においては、歩道を通行する生徒のみであった。

理由としては、駒沢通りに面しており、自動車の交通量が多く、同道(同校周辺)は、追い越し禁止区間であるため、車道幅が狭く、車道走行が極めて危険な状況であるためである。

よって、車道走行者は、皆無であった。

因みに、同校での自転車通学の割合は、全校生徒(総数 700 人)の 15%程度である。

校内には、駐輪場が 2ヶ所に整備(総収容台数 150 台)されていた。

なお、校門直前で左右や後方確認をしている生徒は、皆無であった。

同校の登校時間(8 時 30 分)直前 5 分前後には、多数の生徒が校門を目指す状況となっていた。

なお、登校時間を過ぎても一部の生徒が、自転車通学をしていた。

今回、同校には、自転車通学用の校門は、1 箇所だけ存在していた。

そのため、生徒は、左右方向から校門を目指す状況だが、圧倒的に左側からの生徒が多かった。

理由は、特にないとのことである。

因みに、自転車通学の条件は、特になく、また、車種制限も行われていない。

そのため、スポーツ車や小径車等で通学している生徒もいた。

なお、同校では、教諭による自転車通学の指導は、特に行われていなかった。

また、背中にギターを背負いながらの運転は、カーブする時等に転倒する危険性が高まるので、極力避けるか、一時的に自転車から下車する等の行動が望ましい。

また、同校では、交通安全啓発の一環として、自転車事故等の危険性について周知を図るということで、11月に全校生徒を対象にプリントの配布を行った。



自転車駐輪場(Ⅰ)



自転車駐輪場(Ⅱ)



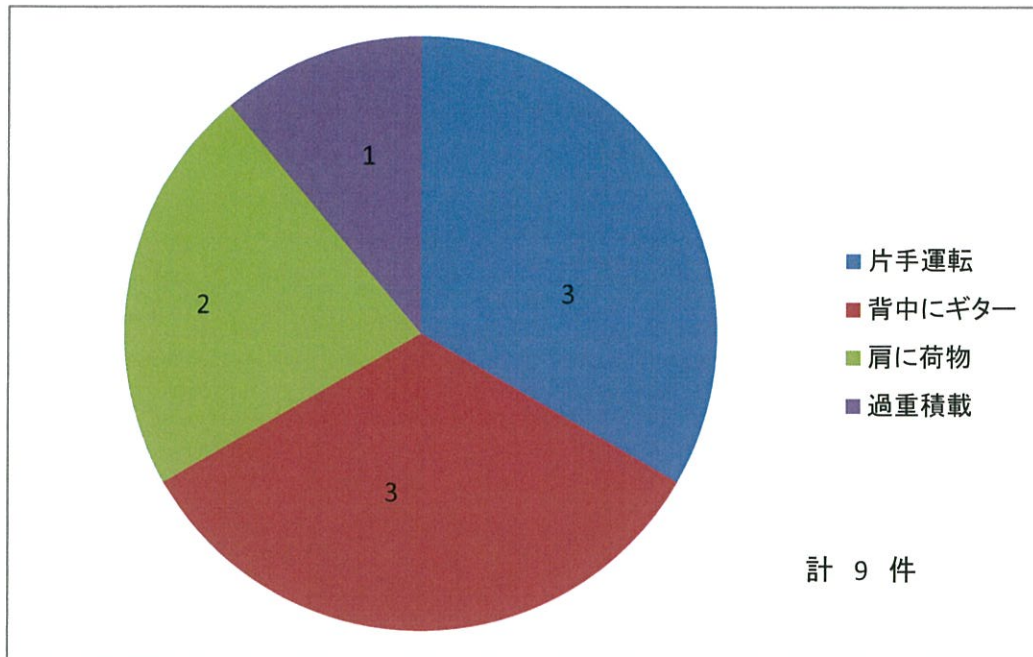
校内配置図



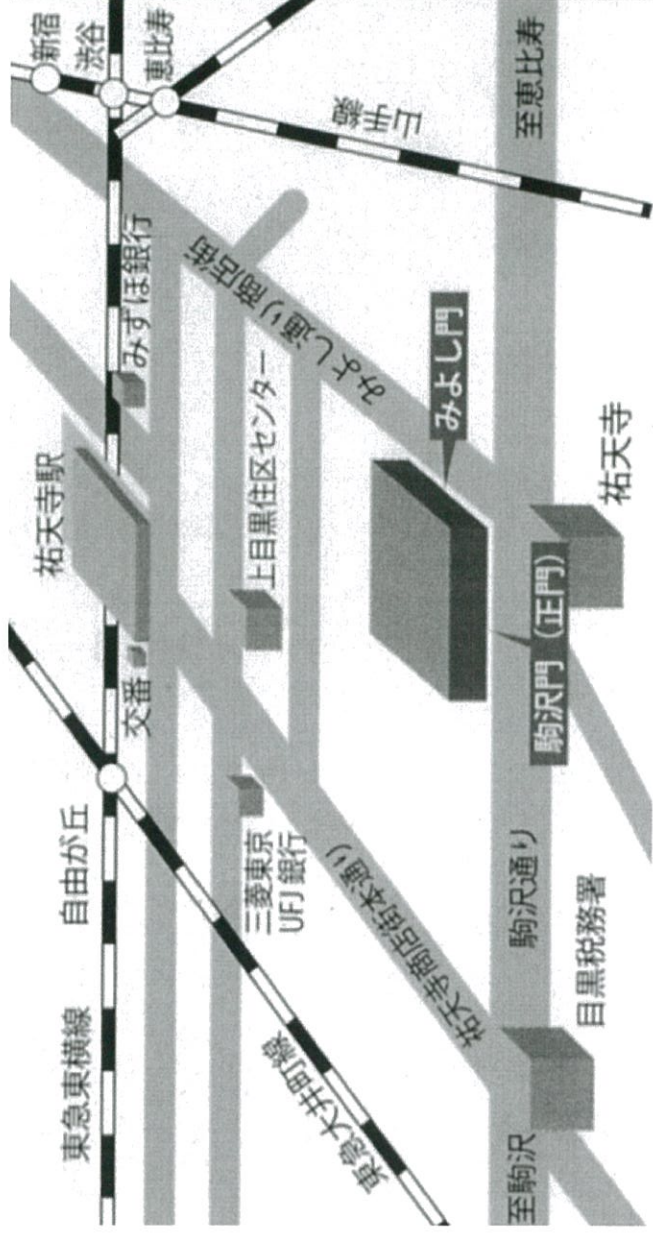
校門左側



校門右側



危険運転行為 (違反運転行為を含む)



▶▶ 主要駅からの所要時間 拡大版はこちら